

基本目標 1



＝基本的方向性＝
本市の特徴的な産業である農業の振興とともに、新規企業の誘致、既存産業の活性化等により、多様な産業の振興を図る。
これにより、経済活動の活性化を進め、市民の雇用の場を創出する。

＝取組の評価(R5)及び今後の方針＝
新たに弥富インター北西部に工業団地を計画しており、今後、更なる地域経済の発展に寄与する取組として推進していく。
農業の新規就農者については、JA・愛知県と連携してサポートを行うことにより少しずつ結果に繋げている。
少子高齢化が進む中で地域経済の担い手不足が危惧される。労働人口の確保のため、女性の再就職サポートのための無料相談の実施や将来の担い手となる大学生や高校生に向けた職場体験等を通して、働きたいと希望を持つ人が地域で活躍できる環境を整備していく必要がある。
愛西市においても外国籍の方が増加傾向となっているが、長期的に日本で生活を送る場合、労働者本人だけでなく、家族に対する支援も必要となってくる。今後、言語や文化的な違いが、地域社会に与える影響は大きいと考えており、今後、外国人材の受入が拡大されれば、サポート体制の更なる充実が求められる。

●基本目標における数値及び重要業績評価指標(KPI)

指標						主 な 取 組 事 項
新規就農者数(親元就農含む)						農業従事者の高齢化が急速に進展するなか、持続可能な力強い農業の実現に向け、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、新規就農者に対し補助事業を行うなど、JA・愛知県・市のサポート体制の中、微増している。
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度(実績値)	R3 年度(実績値)	R4 年度(実績値)	R5 年度(実績値)	R7 年度(目標値)	
40 人	47 人(累計値)	47 人(累計値)	49 人(累計値)	52 人(累計値)	48 人(累計値)	

指標						主 な 取 組 事 項
事業所従業者数						工業団地地区計画区域内への企業立地の推進と雇用創出を目的に、事業所を新設する企業に対し、奨励金制度の説明を実施した。また、異業種同士の橋渡しをするビジネスマッチングを開催し、取引先などの新規開拓や新事業進出による取引増加など市内産業の活性化につなげた。
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度(実績値)	R3 年度(実績値)	R4 年度(実績値)	R5 年度(実績値)	R7 年度(目標値)	
17,391 人 (H28 年度)	17,391 人 (H28 年度)	17,704 人 (R3 年度)	17,704 人 (R3 年度)	17,704 人 (R3 年度)	18,000 人	

施策1-1
新規企業の誘致・新サービスの育成

- ・誘致計画の検討 ・工業団地造成 ・工業団地事業所新設企業の奨励
・展示会等参加による企業誘致活動 ・起業、第二創業に対する支援

＝取組事項(R5)＝
●南河田工業団地においては、全区画(5 区画)が稼働している。
更なる地域経済の活性化を図るため、県企業庁と連携し市南部の弥富インター北西部において工業団地の計画を進めていく。道路設計を実施。
●企業の立地促進及び市民の雇用機会の創出を目的として奨励措置(立地促進奨励金・雇用促進奨励金)を整備しているが、新規地元雇用者数があまり伸びていない。
●展示会等参加回数(R 元年度からの累積)
展示会において参加企業との情報交換などを行った。
【R3】20回【R4】22回 【R5】24回
●第二創業者に対し経営課題解決の提案を行った。
経営課題支援件数
【R3】31件 【R4】34件 【R5】32件

指標					
工業団地に立地する企業数					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
0 企業	2 企業(累計値)	2 企業(累計値)	5 企業(累計値)	5 企業(累計値)	5 企業(累計値)

指標					
工業団地内新規企業における新規地元雇用者数					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R7 年度(目標値)
0 人	3 人(累計値)	4 人(累計値)	7 人(累計値)	7 人(累計値)	120 人(累計値)

施策1-4

地域経済の担い手の確保・育成

・女性への就労支援事業

・障害のある人の雇用促進

・農福連携の活動支援

・外国人材の活躍促進

・地元企業との連携による大学生、高校生の地元就職促進

指標					
25～44歳女性の労働力率					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
77.8% (H27年度)	77.8% (H27年度)	81.6% (R2年度)	81.6% (R2年度)	81.6% (R2年度)	78%

指標					
障害がある人の一般就労移行者数					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
8人	8人	—	—	—	10人

指標					
国際交流事業参加者数					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
364人	205人	244人	255人	301 人	500人

=取組事項(R5)=

●育児と仕事の両立や再就職への不安など、選任カウンセラーによる女性の就労相談を9月と1月に行った。

参加人数

【R4】9月(3名)【R5】9月(5名)、1月(2 名)

●愛西市障害者地域生活支援センター事業は、障害福祉サービスの充実に伴い、就労支援に関するサービスや事業所が増加したため、R2年度に事業廃止としたが、障害者に就労移行支援事業所や障害者就業・生活支援センター等の利用を勧め就労を支援した。

●外国籍の方を対象に、日本語によるコミュニケーション能力の習得を図るため、ボランティアによる日本語教室を開催した。

実施日数

【R3】18日(内Zoomミーティング12日)【R4】27日【R5】34 日

基本目標2



＝基本的方向性＝
本市の自然資源、歴史・文化資源と地理的優位性を活かし、観光誘客を図る。
また、まちの魅力発信や、暮らしやすさ・安全性を重視した環境整備により人を呼び込み、転入者の増加を図る。

●基本目標における数値及び重要業績評価指標(KPI)

指標						主 な 取 組 事 項
人口移動数 30～39 歳⇒35～44 歳(5 年間の移動)						総人口では減少幅が大きいですが、当該年齢区分の人口分布数はプラスとなっており、市の PR 事業や子育て施策の結果が徐々に形になってきている。 進学・就職を契機に市外へ転出し、子どもが小学校進学くらいの世帯が転入するという市の傾向から、今後も若い世代や子育て世代に選んでもらえるまちづくりが必要である。
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)	
102 人(H22→H27)	102 人(H22→H27)	151 人(H28→R2)	151 人(H28→R2)	151 人(H28→R2)	105 人	

指標						主 な 取 組 事 項
道の駅の来場者数						コロナ禍以前の需要が戻らず、施設の老朽化・生産農家の減少で来場者は減少した。また、再整備事業を見据えた、改修工事のため店舗(1 か所)が一定期間稼働しなかったことにより売上も減少した。地域の産業振興及び地域の活性化の拠点として重要であると考えている。 総売上額 【R3】318 百万円 【R4】316 百万円 【R5】305 百万円
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)	
218,439 人	204,402 人	191,372 人	190,081 人	182,709 人	280,000 人	

施策2-1
愛西市の魅力発信と観光発信

- ・案内機能の充実 ・道の駅 ・木曽三川と道の駅を活用した観光拠点整備
- ・市内観光資源の集約と発信体験型学習による観光振興の推進 ・観光ボランティアの育成
- ・マスコットキャラクター「あいさいさん」及び「あいさいちゃん」による情報発信
- ・観光における広域連携 ・ふるさと応援寄付金・ホームページ等でのプロモーション

＝取組事項(R5)＝
●愛西市への応援を寄附金という形で募り、市の施策に有効活用した。
また、寄附者に対し返礼品の送付に併せてお礼状、市公式SNSのチラシを送付し市のPRを行った。
ふるさと応援寄附金額
【R3】72,835 千円 【R4】103,679 千円 【R5】100,179 千円
●「X」・「Facebook」・「Yahoo！くらし」・「LINE」・「YouTube」を併用し、市政情報や市の魅力を配信した。
●道の駅の 24 時間トイレ、歩道、駐車場の整備を行った。
●既存の道の駅の運営管理を行うとともに、新しい道の駅「ふれあいの里 HASU パーク」の指定管理者の業者選定を行った。

指標					
ふるさと応援寄附者数					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
503 人	1,090 人	2,611 人	3,542 人	3,532 人	700 人

施策2-2
移住・定住の促進

- ・Ｕターン者等を対象とした移住 ・企業支援事業
- ・住宅地開発サポート ・空家等対策

＝取組事項(R5)＝
●結婚に伴う新生活を経済的に支援し、安心して暮らせるよう新婚世帯
居住費等支援補助金を交付した。
交付件数【住居費(取得)】R5 15件
【住居費(賃貸)】R5 18件
【引っ越し費用】R5 9件
●東京23区に在住または、通勤する者が本市へ移住した場合に給付する
経済支援対策を整備しているが申請はなかった。

施策2-3
市の居住価値を高める環境整備

- ・巡回バス運行 ・民間木造住宅耐震 ・都市公園等整備・維持管理・駅前広場等整備
- ・維持管理 ・水環境整備 ・公共下水道整備 ・農業集落排水機能強化
- ・合併処理浄化槽等設置整備 ・生ごみ処理槽及び家庭用生ごみ処理器設置補助
- ・地球温暖化対策設備導入促進 ・道路等の整備・維持管理

＝取組事項(R5)＝
●公共施設、店舗、公共交通機関等への移動手段の一助として、市内の
各地区での巡回バスを継続して運行した。
【内訳】
R3【4地区巡回バス】69,872人【海南ルート】7,607人
R4【4地区巡回バス】70,412人【海南ルート】8,238人
R5【4地区巡回バス】70,312人【海南ルート】8,674人
●民間木造住宅耐震診断事業 30棟、民間木造住宅耐震改修費補助事業
2件、木造住宅除却工事費補助金交付事業 19件の補助を行った。(民間
木造住宅耐震シェルター等設置費補助事業については、申請なし。)
●都市公園を含む公園施設の維持管理業務を行った。
道の駅周辺の都市公園の令和8年度供用開始に向け、用地取得を行うと
ともに整備工事を行った。また公園内の建築物の実施設計を行った。
●にぎわい創出と駅利用者の利便性向上を図るため、藤浪駅前広場の老
朽した施設の再整備を行った。
●社会資本整備総合交付金の交付を受け、公共下水道事業管路施設工
事等を実施した。
【R5】管路施設工事9本、舗装復旧工事1本、その他工事49本
公共下水道整備面積
【R3】416.8ha【R4】436.0ha【R5】451.7ha
●道路の改良、舗装修繕及び橋梁点検を計画的に行った。
市道 108 号線は道路拡幅及び歩道設置に向け事業を推進し、市道 114
号線では道路拡幅、市道 2165 号線及び 2176 号線では歩道設置を行
った。また市道 2 号線及び 158 号線では舗装を修繕し、橋梁については
51 橋の定期点検を行った。

指標					
転入者数					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
1,831 人	1,866 人	1,777 人	2,213 人	2,106 人	1,900 人

指標					
巡回バス利用者数					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
123,180 人	65,100 人	77,479 人	78,650 人	78,986 人	124,000 人

指標					
耐震化率					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
72%	72%	73%	73%	74%	78%

指標					
都市公園における人口1人当たりの供用面積					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
8.4 ㎡	8.6 ㎡	8.8 ㎡	8.8 ㎡	8.9 ㎡	9.8 ㎡

指標					
污水处理人口普及率					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
83.2%	85.2%	86.8%	87.6%	88.1%	93.5%

指標					
市道の改良延長					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
333km	329km	332 km	337km	337km	337km

基本目標 3



= 基本的方向性 =
結婚、妊娠・出産、子育てにいたるまでの切れ目のない支援体制を構築し、合計特殊出生率の上昇と出生数の増加を図る。

= 取組の評価及(R5)び今後の方針 =
基本目標における指標は、全国同様減少傾向にあり、目標値に達することはできなかったが、あいち海部農業協同組合と協力した婚活イベントの実施や、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備に向けて、伴奏型の相談支援と経済的な支援など切れ目のない支援実施など、将来的な人口の確保、安定した人口構成を実現するための施策を実施しており、引き続き積極的に展開していく。
今後は、シティプロモーションの推進により愛西市の魅力を発信し、子育て世代に選ばれる市となるよう努める。
特に、本市の特色ある子育て施策について、子育てポータルサイトやホームページなどにおいて積極的に情報発信しており、引き続き、切れ目ない子育て支援を行うことにより安心して子育てしやすいまちづくりを進め、持続可能な行政運営のための人口確保と安定した人口構成の実現に繋げていく。

●基本目標における数値及び重要業績評価指標(KPI)

指標						主 な 取 組 事 項
出生数						保護者の経済的負担を軽減するため、18歳になる年度末まで医療費（入通院）の無償化、1歳児子育て支援給付金（児童1人当たり5万円）の支給、保育園・幼稚園等に通園する3歳以上の児童の副食費に対する3,500円を上限として補助（臨時交付金を活用し R5.9～R5.12 は月額4,000円、R6.1～R6.3 は月額 4,500 円）を実施した。 妊娠中から子育て期までの切れ目ない支援、健康診査や相談支援、訪問事業、あいさいっ子相談室の運営、ファミリー・サポート・センター事業など地域で安心して子育てができる取組を展開した。 また、新型コロナウイルス感染症、物価高騰対策における市民生活の維持、回復のため支援策として保育所等の副食費や小中学校への給食の無償化等事業や上水道料金免除・補助事業など子育て世代への負担軽減を目的に取り組んだ。
総合戦略策定時 （H30 年度）	R2 年度 （実績値）	R3年度 （実績値）	R4 年度 （実績値）	R5年度 （実績値）	R7 年度 （目標値）	
326 人	332 人(R1 年)	273 人(R2 年)	309 人(R3 年)	302 人(R4 年)	353 人	
18 歳未満の子どもの人数						
総合戦略策定時 （H30 年度）	R2 年度 （実績値）	R3年度 （実績値）	R4 年度 （実績値）	R5年度 （実績値）	R7 年度 （目標値）	
9,296 人	8,769 人	8,599 人	8,395 人	8,174 人	7,700 人	

施策3-1
結婚サポートを望む人への支援

・「婚活」への支援 ・農婚活イベント
・「愛妻」キャンペーンの展開

= 取組事項(R5) =

●あいち海部農業協同組合と協力して、婚活イベントを実施した。

支援した農婚活パーティー回数

【R3】0回(コロナにより中止)

【R4】1回、参加者21名、成立カップル1組(市外)

【R5】1回、参加者12名、成立カップル2組市内(市内1・市外1)

指標					
支援した婚活イベント回数					
総合戦略策定時 （H30 年度）	R2 年度 （実績値）	R3年度 （実績値）	R4 年度 （実績値）	R5年度 （実績値）	R7 年度 （目標値）
9 回(累計値)	9 回(累計値)	9 回(累計値)	10回(累計値)	11回(累計値)	22 回(累計値)

施策3-2
妊娠・出産・子育て支援の充実

- ・中学生への妊娠に対する正しい知識の普及啓発
- ・一般不妊治療及び未熟児養育医療費助成
- ・母子保健事業・母子保健推進員活動
- ・子育て世代包括支援センター
- ・子育て世帯への経済的支援
- ・子育て支援拠点
- ・子育てポータルサイト
- ・児童館・子育て支援センター
- ・延長保育
- ・一時預かり事業(余裕型)
- ・児童クラブ
- ・ファミリー・サポート・センター
- ・ワークライフバランス促進
- ・子育てお助け隊
- ・Aisai・ママ・マルシェ

指標					
3歳児健康診査において子育ての相談相手がいるひとの割合					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
97.5%	96.7%	96.2%	97.1%	96.5%	99%

指標					
ファミリー・サポート・センター会員数					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
622 人	637 人	662 人	716 人	736 人	630 人

指標					
子育てポータルサイトの登録者数					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
184 人	1,316 人	1,433 人	1,573 人	1,929 人	1,400 人

指標					
児童館・子育て支援センターの利用者数					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
166,465 人	121,961 人	126,884 人	139,250 人	148,820 人	167,500 人

- =取組事項(R5)=
- 18歳になる年度末まで医療費(入通院)の無償化を実施。
 - 妊産婦及び乳幼児健康診査、相談支援、訪問事業、歯科事業、健康教育を実施。
 - 妊娠8か月前後と、生後2か月の時期に面談を実施する伴奏型の相談支援と経済的な支援を一体として実施する出産子育て応援事業を行った。
 - 令和5年10月より新生児聴覚検査費補助事業を開始した。
 - ファミリー・サポート・センター事業について、登録会員等に対して、研修会を開催するとともに、事業の周知を図り、提供会員数の増加に努めた。
 - 児童館や子育て支援センターなどで開催されるイベント等の子育てアプリ掲載内容の充実支援を行い、広く周知を図った。
 - 放課後児童健全育成事業として市内全小学校区で児童クラブを運営した。
(12か所・13児童クラブ)
 - 民間で運営する児童クラブに補助金を交付した。(4児童クラブ)
 - ひとり親家庭等を対象に児童クラブ利用料を助成した。
 - 一般不妊治療費助成
【R3】29組 【R4】17組 【R5】23組
 - 未熟児養育医療費助成
【R3】10人 【R4】12人 【R5】12人
 - 初妊婦への訪問・電話による状況把握率
【R3】88% 【R4】84.5% 【R5】77.0%
 - 乳児への訪問・電話による状況把握率
【R3】90.2% 【R4】92.7% 【R5】98.9%
 - 子育てお助け隊登録者数
【R3】12人 【R4】18人 【R5】14人
 - 子育て世代に対し、切れ目のない子育て支援を行うため、市独自事業として、1歳を節目に相談支援及び経済的支援を行う1歳児子育て応援給付金(児童1人に5万円を支給)を交付した。また、保育所等及び小中学校の給食費に対する補助を行った。

施策3-3
様々な子育て家庭への支援

・児童発達支援センター ・養育支援訪問 ・DV・虐待相談
・発達障害児相談支援 ・準要保護児童生徒就学援助

指標					
子育てで相談できる人がいる割合(養育支援訪問事業)					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
100%(H29 年度)	75%	50%	100%	100%	100%

施策3-4
次世代の愛西市民を育む

・環境教育の推進 ・土曜日の教育活動推進事業
・子どもの心の健康づくり ・学校・家庭・地域がつながる健康教育
・家庭教育推進事業 ・地元企業と連携した体験活動
・次代を担う世代との協働による地域課題解決提案
・生涯学習推進事業 ・文化・芸術の振興
・スポーツ機会の充実

指標					
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
76.3%	76.6%(R1 年度)	73.1%	76.4%	70.0%	100%

指標					
学校が楽しいと思う児童生徒の割合					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
82.7%(H28 年度)	82.7%(H28 年度)	85.4%(R3 年度)	85.4%(R3 年度)	85.4%(R3 年度)	87%

指標					
子どもの心の健康づくり事業実施率					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
100%	77.3%	74.1%	100%	100%	100%

指標					
生涯学習講座・教室の参加者数					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
3,388 人	1,180 人	1,563 人	1,948 人	2,050 人	3,500 人

＝取組事項(R5)＝
●令和4年7月に発達支援センターを開所し、児童発達支援事業、保育所等訪問支援事業、相談支援事業を行っている。
●養育支援訪問員により 1 件の家庭に延 5 回訪問を実施。ケース検討会は 2 回実施。
●「こども家庭総合支援拠点」を設置し、虐待等の相談に対して、より専門的な支援や継続的支援を行った。
相談件数 【R3】68人【R4】79人【R5】55人

＝取組事項(R5)＝
●職場体験活動を通し、人としての生き方を学び、働くことの意義を理解し、自己の生き方について考え、実践することのできる児童生徒の育成を図った。
●「十歳の集い」をすべての市内小学校にて実施。
●市内全中学2年生を対象にいのちの授業を実施。
●身近に生息する生物について保全の気運を高めるため、木曽川・長良川背割堤で野鳥観察会を実施。
親子参加数【R3】19人【R4】14人【R5】18人
●あいさい土曜キラリ☆学習を開催。
【R3】17教室(192人)【R4】21教室(244人)【R5】21教室(206人)
●あいさい土曜チャレンジ☆教室を開催。
【R3】2教室(15人)【R4】2教室(10人)【R5】2教室(19人)
●清林館高等学校生徒が地域課題に対し生徒の視点から当該課題の現状を考察し解決に繋がる提案を行う活性化プロジェクトを実施した。
●市民の学習ニーズに対応する機会の提供として公民館・文化会館講座を実施。
【R3】コロナにより実施なし
【R4】佐織地区公民館21講座、永和地区公民館4講座、文化会館37講座
【R5】佐織地区公民館17講座、永和地区公民館6講座、文化会館36講座
参加者数【R3】コロナにより中止【R4】(作品)763人(芸能)463人
【R5】(作品)666人(芸能)571人
●あいさい音楽祭
フレッシュフェスティバル 出演7団体 入場者数 404 人
音楽祭 参加者(予選 56 人、本選 88 人) 入場者数376人
●2026年アジア競技大会のローイング競技が長良川国際レガッタコースで開催されることが決定されており、市民への啓発の取組を行った。

基本目標 4



＝基本的方向性＝
人口減少、少子高齢化への対応を図るとともに防災対策、市民のまちづくり活動の活性化を進め、生涯にわたって安心して暮らせるコミュニティをつくる。

＝取組の評価(R5)及び今後の方針＝
超高齢社会への対応として、高齢化に伴う医療費・介護保険給付費等の高騰を防ぐための健康診査・がん検診の受診勧奨は、対象者のタイプに合わせた受診勧奨通知を行う工夫をしたことで、受診率をアップさせることができた。今後も市民の健康寿命の延伸のため、スポーツ活動の推進や高齢者を支える体制を進めていく。高齢者を支える体制は、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症ボランティアを養成している。年々サポーター数は増加し、「誰もが暮らしやすい地域」へ一歩ずつ近づいていると言える。
本市は合併に伴い公共施設を多数所有しており、今後も維持管理や修繕などの膨大な費用が発生する。人口減少を踏まえたまちづくりを推進していく中、必要性や利用状況等を分析し、愛西市公共施設等個別施設計画に基づき公共施設等を適正に配置していく。
安全・安心なまちの実現に向け、コミュニティ単位での自助共助の機能強化は重要である。防災活動で連携した活動団体の割合が年々上昇していることは地域防災力向上に繋がっていると言える。今後も防災情報に関し多様・多重に発信することにより市民の防災意識を高めていく。さらに、本市に愛着を持つ市民が主体となって地域課題解決に対応できるよう、伝統文化の継承やコミュニティ形成を進めていくための仕組みづくりを促進していく。

●基本目標における数値及び重要業績評価指標(KPI)

指標						主 な 取 組 事 項
自主防災連合会で活動した自主防災会の割合						自主防災会同士が連携した訓練を実施した。(勝幡地区・市江地区・永和地区・町方町・立田地区・西川端地区) 自主防災会数:175 団体 うち自主防災連合会で活動した団体数:92 団体
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)	
40%	31.8%	19%	52.5%	52.0%	70%	

指標						主 な 取 組 事 項
生きがい・目標を持っている高齢者の割合						高齢化社会への対応として、介護予防、日常生活支援総合事業において多様なサービスを提供、特定健康診査の費用の負担を軽減し、受診促進に努め、生活習慣病の早期発見を促す。今後も引き続き、幅広い世代に対する活動を推進することにより、健康で生き活きと暮らし続けられるまちづくりを目指す。
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)	
58.2%(H28 年度)	58.2%(H28 年度)	76.1%(R3年度)	76.1%(R3 年度)	76.1%(R3 年度)	80.5%	

施策4-1
これからの高齢社会への対応

・健康診査及びがん検診・健康教育 ・健康マイレージ事業 ・健康なまちづくり事業
・生涯にわたるスポーツ活動の推進 ・高齢者を支える体制づくり ・認知症対策の推進
・高齢者見守り訪問

指標					
多様なサービスが提供できる実施機関の数					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
9 か所	16 か所	22 か所	20 か所	21 か所	30 か所

指標					
特定健康診査受診率					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
41.8%	33.8%	42.8%	42.6%	46.7% (暫定値)	60%

＝取組事項(R5)＝
●生活支援体制整備として市と社会福祉協議会に1名ずつ、佐屋・立田・八開・佐織地区に1名ずつ生活支援コーディネーターを配置。住民主体による訪問型・通所型サービスに対して補助により活動を支援。
補助件数 【R3】訪問283件、通所5, 412件
【R4】訪問344件、通所6, 027件
【R5】訪問484件、通所 7,715 件
●健診の受診率を上げるため、タイプ別の受診勧奨通知を実施。特定保健指導を集団及び個別で実施。個別指導においては、指導を受け易くするため指導場所や指導方法の選択肢を拡充した。
●健康マイレージ参加者実人数【R3】869人（2 クール）
【R4】918人（2 クール） 【R5】570 人(1 クール)
●運動習慣を身に付けるための支援事業の実施
「あいち健康プラス」(愛知県と共同)を活用し、運動習慣の定着を図った。
参加者 【R3】310 人 【R4】228 人 【R5】221 人
●認知症サポーター数
【R3】3, 706人 【R4】3, 780人 【R5】4,016 人

施策4-2

人口減少を踏まえたまちづくりの推進

・公共施設等マネジメントの推進

・「集約型まちづくり」の推進

・未来技術を活用した地域形成の推進

・空家等対策

指標					
公共施設の延床面積					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
224,257 ㎡	223,169 ㎡	221.982 ㎡	222,969 ㎡	221,568 ㎡	211,000 ㎡

施策4-3

安全・安心な暮らしづくり

・通学路交通安全対策プログラム

・地域防災力向上支援

・消防施設等整備

・消防団応援事業

・防災等情報メール等配信システム運用委託

・災害に強い配水管整備

・BCP策定

・防災機能を有する公園等の整備

・位置付け

指標					
配水耐震管延長距離					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
12,476m	14,697m	15,671m	18,181.2m	20,873.1m	26,900m

指標					
耐震性貯水槽設置数/消火栓設置数					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
52 箇所/ 993 箇所	52 箇所/ 1,003 箇所	52 箇所/ 1,005 箇所	52 箇所/ 1,008 箇所	52 箇所/1,012 箇所	53 箇所/ 1,021 箇所

指標					
消防団応援事業に協力する事業所数					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
40 事業所	50 事業所	50 事業所	48 事業所	46 事業所	52 事業所

指標					
防災メール等の登録者数					
総合戦略策定時 (H30 年度)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R7 年度 (目標値)
9,018 人	10,746 人	10,907 人	11,196 人	11,457 人	12,000 人

=取組事項(R5)=

●公共施設等の現状把握及び修繕計画の見直し行った。

●空家等対策協議会1回開催。空家等対策庁内調整会議1回開催。空家等対策庁内調整会議作業部会1回開催。危険空家除去費補助金2件適用。相続財産管理人選任申立て1件。その他空き家の適正管理に関する助言指導等を実施。

●鉄道駅等と隣接した市街化調整区域について、将来的な市街化区域への編入を見据え、市街地整備を進めるべき駅前生活拠点を選定した。

=取組事項(R5)=

●すべての地区において通学路合同点検を実施し、必要に応じて、学校と協議の上、改善を行った。

R5カラー舗装工事(通学路交通安全対策プログラム)

区画線設置 1,312m カラー舗装 323 ㎡

●市民に対し、防災情報等を携帯電話等に配信し災害への備えや緊急時の情報提供を行った。また、職員参集システムにより、災害時における職員の安否確認及び参集可否を確認し、災害対応力の迅速化と向上を図った。

配信件数 R4 246 件 R5 285 件

●自主防災組織活性化のため、単位自主防災会及び自主防災連合会に備品購入等の補助を行った。

年度	R3	R4	R5
補助金申請数	35	25	31
金額(円)	1,475,908	1,199,522	1,464,972
補助金申請数	3	7	7
金額(円)	2,694,550	5,753,025	5,943,038

●自然災害による被災を最小限にとどめ、被災した場合も迅速に復旧できるよう配水耐震管の整備を行った。

